

＜ 午前 の部 (10:00~12:00) ＞

セミナーⅠ 地域経済の再生復興 ～地域を支える“生業(なりわい)”づくりの視点から～

地域に根付いた産業・生業なしには、地方や自治体の真の自立は困難である。「新たな産業の芽生え」を求めて、企業、自治体、市民は、地域資源をどのように活かすべきか、産業人材をどう育成すべきか、自治体は企業をどう支援すべきかなど、「地域を支える“生業”づくり」について議論したい。

- パネリスト
小久保行雄(南ドンカメ)
辻義雄(舞鶴かまぼこ協同組合)
大銅美則(天橋立ワイン株式会社・たんご果実生産組合)
- コーディネーター
真板昭夫(京都嵯峨芸術大学)

セミナーⅡ 自治体の自立と地方財政 ～分権型社会における地方財政のあり方を考える～

分権型社会を迎え新たな自治の仕組みづくりに取り組む中、自治体における財政的自立が制度的に困難であるとすれば、その制度設計は如何にすべきか。首長、議会、市民のあり方を含め、自治体の自立と地方財政の視点から、自治の仕組み、制度を考察する。

- パネリスト
平井伸治(鳥取県知事)、西寺雅也(前多治見市長)
- コメンテーター
荒木和美(寝屋川市)
- コーディネーター
小西砂千夫(関西学院大学)

セミナーⅢ 市民社会の新たなコミュニティを構想する ～今、求められるコミュニティ・ガバナンス～

人口減少・少子高齢社会において、「コミュニティ再生」、あるいは「コミュニティ自立」を喫緊の大きな課題として、多くの取り組みがなされてきたが、その担い手・運営・経済基盤・自治体行政との関係などについて、今後の市民社会におけるコミュニティ・ガバナンスを構想する。

- パネリスト
中山泰(京丹後市長)
阿部圭宏(NPO 法人市民がささえる市民活動ネットワーク滋賀)
山崎洋子(おけら牧場 ラーパンの森、
NPO法人「田舎のヒロインわくわくネットワーク」)
- コメンテーター
新川達郎(同志社大学)
- コーディネーター
林泰義(玉川まちづくりハウス)

＜ 午後 の部 (13:00~16:00) ＞

分科会1 “生業”が育み、“生業”を育む“景観”～地域の暮らし・産業の活性化と景観づくり～

地域の特徴ある景観や風景は、その土地の自然と地域固有の産業、そして人々の暮らしや生きざまが生み出したものである。景観法が施行された今、もう一度、地域の産業と景観の関わりについて、京都府の事例を題材に議論を深める。

- パネリスト
秦めぐみ(秦家(京都市))、馬場正実(和束町)
高谷基彦(京都市)
塩澤実(旧美山町(南丹市)茅葺職人)
馬場英男(NPO法人赤煉瓦倶楽部舞鶴)
- コーディネーター
進士五十八(東京農業大学(自治体学会代表運営委員))

分科会2 命をまもるまちづくり ～保健・医療・福祉を市民がコーディネートする～

私たちが住み続けていく、地域社会が存立するというこの前提には地域保健、地域医療、地域福祉が不可欠な状況にある。にもかかわらず、サービス、システムに対する不安、関心は増大している。このことをローカルガバナンスの視点から課題を整理したい。

- パネリスト
高見徹(日南町国民健康保険 日南病院長)
濱口一則(濱口社会福祉士事務所)
上原恵美(丹波市)、石田 光広(稲城市)
- コーディネーター
大森彌(東京大学名誉教授)

分科会3 足もとにある資源を活用する地域づくり ～大学の地域連携と地元学の試み～

新たな公共のあり方を模索するとともに確立する方向で、市民のくらしや地域の個性を基軸にした底力ある地域づくりが求められている。大学の地域連携や「地元学」の試みなどを通し、めざすべきく自治のかたちとく市民像を探る。

- パネリスト
岩崎正弥(愛知大学)、福井隆(東京農工大学)
奥貴隆(滋賀県立大学)、佐々木真(京極住民福祉連合会)
塩見直紀(半農半X研究所)、石橋裕志(NPO法人ガバナンス舞鶴)
小川慎(逗子市)
- コーディネーター
富野暉一郎(龍谷大学)

分科会4 小さな自治からの地域再生 ～地域の自立と持続可能性のために～

地域が持続可能であるためには、内発的な復元力(地域力)が作動する自立循環型の社会システムが必要である。そのシカケ・シクミの具体策を地域の現場から抽出し、都市部、農村部それぞれの小さな自治からの地域再生の方策を探る。

- パネリスト
中川幾郎(帝塚山大学)、久隆浩(近畿大学)
田中義岳(財団法人国際育児幸せ財団)
小馬勝美(元京都府美山町助役)
- コーディネーター
新川達郎(同志社大学)

分科会5 「限界集落」の将来を考える ～生活が国土が環境が崩壊しないために～

いわゆる「限界集落」が増加している。消滅に向かう集落を活性化させるためには必要なものは何か。それをどう実践していくのか。事例を交えながら参加者と一緒に議論を深めていく。

- パネリスト
添田潤(農業)
鈴木康久(日本都市農村交流ネットワーク協会)
笠松浩樹(島根県中山間地域研究センター)
- コーディネーター
森孝之(エコロジスト・前大垣女子短期大学学長)

分科会6 学校再生への地域の役割 ～学校と地域の新たな関係づくり～

子どものいじめによる自殺、家庭における子どもへの暴力、教育水準の低下など、子どもを取り巻く環境に問題は多い。「学校」、「地域」、「人材」、「行政」、「教育委員会」などのキーワードや学校と地域との新たな関係作りの事例などから議論を深め、学校再生への手立てを模索する。

- パネリスト
稗田靖彦(舞鶴市立志楽小学校)、渡辺道仁(宇都宮市議会議員)
谷田吉久(夢のマジック宅急便)
- コーディネーター
佐々木英和(宇都宮大学)

分科会7 市民の議会は可能か ～ディスカッションテーブル～

分権、共治をめざす社会における「市民の議会」のありかたは？課題がいわれているが、自治体議会にもとめられる役割はなにか、そのための変革は可能か？現状と課題、可能性を、参加者の議論をつづじて発見する、見識者と課題関心の深い公募会員によるディスカッションテーブルのこころみ。

- ディスカスタント
井坂信彦(神戸市議会議員)、中島武津雄(飯田市議会議員)
米倉克良(市民セクター政策機構専務理事、月刊『社会運動』編集長)
公募会員3名
- コーディネーター
岡崎加奈子(法政大学非常勤講師)

分科会8 防災・安心・安全 ～自分たちのまちは自分たちで守る～

阪神・淡路大震災以後12年が経過したが、自治体における地震や台風の災害時の対応は進んだだろうか。さらに、市民が、不慮の事故(事件、事故、犯罪)に巻き込まれる例が多いが、地域や家庭での防災・安心・安全未然防止の観点からセーフコミュニティの取組を通じコミュニティの再生を考える。

- パネリスト
白石陽子(㈱マチュールライフ研究所)、中谷友樹(立命館大学)
三谷智子(京都府立医科大学)、河合淳一(舞鶴市)
- コーディネーター
林泰義(玉川まちづくりハウス)

分科会9 京都発！地域発！環境パートナーシップ！～環境パートナーシップの仕組みづくりを地域から起こそう！～

大量生産・大量消費・大量廃棄から持続可能な社会経済へシフトするため、市民・事業者・自治体・NPOが各セクターの壁を越え、地域から起こすパートナーシップの仕組みづくりの新たな展開とその目標とは……

- パネリスト
大瀬潤三(㈱島津製作所)、中山康成(㈱YAKIN大江山)
向井久仁子(向井酒造㈱)
下村委津子(NPO法人環境市民)
蒲田充弘(NPO法人丹後の自然を守る会)
味田佳子(NPO法人エコネット丹後)
- コーディネーター
宗田好史(京都府立大学)

分科会10 自治体人事行政と能力・実績主義

規制緩和や能力・実績主義の広がりとともに、地方公務員のあり方に大きな変化が生じている中で、自治体の人事行政は、何がどのように変化しているのだろうか。また、その変化は、報われる自治体職員制度の構築に対応しているのかについて制度・実態から検証する。

- パネリスト
申龍徹(自治総研研究員)、荒川俊雄(元大阪府寝屋川市)
柴田正顕(鳥取県)、吉川富夫(県立広島大学)
- コーディネーター
今井照(福島大学)

ポスターセッション

地域ブロック単位、個人・団体の報告書などの配布・展示、自治体の取り組みの紹介、出版物の展示・配布等を通して、参加者が交流・意見交換できる場としてポスターセッションを開催します。(8月24日(金)・25日(土))

エクスカージョン

自然を満喫できる京丹後市から、歴史文化が香る古都、京都市まで様々なバリエーションを揃えました。(日程:8月25日(土)～26日(日))

- ① 丹後(京丹後市、伊根町、与謝野町)
- ② 福知山市、綾部市
- ③ 舞鶴市
- ④ 南丹市
- ⑤ 京都市